



# ITパスポート講座 用語集サンプル

## ストラテジ系用語集サンプル

### 経営哲学・ブランディング

#### 企業の経営理念

企業の「経営理念」とは、経営者が考える事業に対する考えのことで、どのように企業を運営していくかの軸となるものです。企業によっては、「社訓」などの従業員の目に付きやすい形で示す場合もあります。

#### ✳️ 経営理念の意義

経営理念を策定することには以下のような意義があります。

##### 1. 企業の存在理由や価値観を明確にすることができる

経営理念を設定することにより、企業の存在理由や価値観を明確にすることができます。経営者の考え方や企業の信念を明確にすることで、社内外の人々に対して企業の姿勢を示すことができます。

##### 2. 従業員や顧客に共感を呼び、協力を促すことができる

経営理念は、従業員や顧客に対して企業の考え方を伝え、共感を呼び起こす効果があります。従業員が企業の理念に共感し、自身の仕事に意欲を持つことで、組織の一体感や生産性の向上につながります。また、顧客も企業の理念に共感し、製品やサービスを購入したいという意欲が高まるでしょう。

##### 3. 経営戦略や行動計画に具体性を持たせることができる

経営理念は、企業の経営戦略や行動計画の基盤となります。経営理念を明確にすることで、具体的な目標や戦略を立てる際に、理念に合致した方向性を持たせることができます。経営者や従業員が経営理念を意識しながら行動することで、企業の目標達成に向けた具体的な行動計画を立てることができます。

#### ✳️ 企業理念と経営理念との違い

「企業理念」と「経営理念」は似たような言葉ですが、微妙な違いがあります。

##### • 企業理念:

企業理念は、企業の存在目的や、その企業が社会において果たすべき役割、追

求すべき価値を表明するものです。これには以下のような要素が含まれます。

- **存在目的:** 企業がなぜ存在するのか、その根本的な目的を示します。
- **価値観:** 企業が重視する価値や原則を明確にします。
- **社会的役割:** 企業が社会において果たすべき責任や役割を定義します。
- **経営理念:**  
経営理念は、企業の経営者や経営陣が持つ、経営に対する基本的な考え方や指針を表します。これには以下のような要素が含まれます。
  - **経営の指針:** 経営者のビジョンや目指すべき経営スタイルを示します。
  - **経営戦略:** 企業の目標達成に向けた具体的な戦略や方法論です。
  - **決定基準:** 経営上の意思決定を行う際の基準や方針を定めます。

このように、企業理念は一般的に長期的で安定しているのに対し、経営理念は経営者によって変わる可能性があります。また、企業理念は企業の社会的な存在意義や根本的な価値観に焦点を当てるのに対し、経営理念は経営上の意思決定や戦略の方針に焦点を当てます。そして、企業理念は組織全体に関係し、企業文化やアイデンティティを形成します。一方、経営理念は経営層による具体的な戦略や方針に関連します。

## コーポレートブランド

コーポレートブランドとは、企業のイメージや信頼度からくるブランド力のことで、企業の製品やサービスの品質に対する認識や評価は、その企業のブランドイメージに大きく影響を与えます。

### ★コーポレートブランドの高め方

コーポレートブランドを高める方法の一例をご紹介します。

- **独自のスキルや技術に基づく競争優位性の提供:**  
企業が有する独自のスキルや技術を活かして、他の競合他社では提供できない価値を顧客にもたらすことで、コーポレートブランドを高めることができます。このような独自のスキルや技術を持つことは、**コアコンピタンス**と呼ばれます。
- **企業名やブランドから品質イメージを連想させる:**  
企業名やブランドのイメージが、製品やサービスの品質イメージと連想されることで、コーポレートブランドの高まりにつながります。顧客は、ブランドのイメージから製品やサービスの品質を期待するため、ブランド力が競争優位性をもたらすことがあります。

- **企業の普遍的な価値観や考え方の公表:**

経営者や企業が社会に対して、企業の普遍的な価値観や考え方を公表することで、ステークホルダ（関係者）の共感を得ることができます。企業理念や社会的な責任の重視など、企業の基本的な考え方を明確にすることは、コーポレートブランドを高める一つの方法です。

このように、コーポレートブランドを高めるためには、独自性や品質イメージ、企業の価値観の公表、低価格販売などの要素が重要です。企業はこれらの要素を活用して、顧客の信頼を得ることで、競争力を高めることができます。

## マネジメント系用語集サンプル

### 内部統制

内部統制は企業が業務を適切に遂行し、リスクを管理し、財務報告の信頼性を確保するための仕組みです。

#### 内部統制の目的

内部統制の主な目的は次の通りです：

- ★ **業務の適切な遂行**

内部統制は、企業の業務が適切に実施されるように促します。これにより、効率的かつ効果的な業務運営が可能となります。

- ★ **リスクの管理**

内部統制は、企業が直面する様々なリスクを特定し、評価し、適切な対策を講じることがを支援します。リスクを管理することで、企業は予測可能性を高め、不正や誤りの発生を防ぐことができます。

- ★ **財務報告の信頼性の確保**

内部統制は、企業の財務報告の信頼性を確保するための重要な役割を果たします。適切な内部統制が確立されることで、財務諸表の正確性や適時性、完全性が保たれます。

#### 内部統制の6つの基本要素

内部統制に関しては、金融庁によって、6つの基本要素が制定されています。

- ★ **統制環境**

統制環境は、企業の気質を決め、企業内の全従業員の統制に対する意識に影響を与えるとともに、他の基本的要素の基礎・基盤となるものです。

### ★リスクの評価と対応

リスクの評価と対応は、企業の目標の達成に影響を与える事象について、目標達成を妨げる要因をリスクとして識別、分析及び評価し、当該リスクへの適切な対応を行う一連のプロセスのことです。

### ★統制活動

統制活動は、経営者の命令及び指示が適切に実行されることを確保するために定める方針、及び手続きのことです。

### ★情報と伝達

情報と伝達は、必要な情報が識別、把握及び処理され、組織内及び関係者相互に正しく伝えられることを確保することです。

### ★モニタリング（監視活動）

モニタリングは、内部統制が有効に機能していることを継続的に評価するプロセスのことです。モニタリングによって、経営者や管理者は内部統制の強化や改善の必要性を把握し、適切な対策を取ることができます。

### ★ITへの対応

ITへの対応は、組織目標を達成するために予め適切な方針及び手続きを定め、それを踏まえて、業務の実施において組織の内外のITに対して適切に対応することです。ITの活用は現代の企業活動において欠かせない要素となっており、内部統制の一環としても重要な役割を果たしています。

## ITガバナンス

企業や組織が情報システム戦略の策定と実行を統制するための概念です。具体的には、組織内の役割や指示系統、内部統制、リスクマネジメントの体制を設けて、情報システムの導入や活用を最適化するような戦略を立てて実行します。

### ★ガバナンス

ガバナンス（governance）とは「統治・支配・管理」を意味する言葉です。企業においては、健全な経営をするために、「あるべき姿」へ向かうための組織能力やしきみのことです。具体的には、役割は指示系統などの内部統制やリスクマネジメントの体制を設けて運用していくこととなります。

### ★ITガバナンスの役割

ITガバナンスの役割は、以下の通りです：

- 競争優位性構築のためのコントロール:  
企業が競争優位性を築くためには、IT戦略の策定や実行をコントロールし、あるべき方向へ導く能力が必要です。
- 内部統制とリスクマネジメントの整備:  
ITガバナンスでは、内部統制やリスクマネジメントの体制を整備し、適切に運用していくことが求められます。これにより、企業のリスクを把握し、適切な対策を講じることができます。
- 経営目標の達成:  
ITガバナンスは、経営目標を達成するために重要な役割を果たします。ITの導入や活用を最適化することで、企業の効率性や競争力を向上させることができます。

### ★経営者の役割

ITガバナンスにおいて、経営者は重要な役割を担っています。経営者は現在及び将来のITの利用についての評価を行い、IT利用が事業の目的に合致することを確実にします。経営者はITガバナンスの主体となり、情報システム戦略の策定や実施を行います。経営戦略と情報システム戦略にズレを生じさせないよう、経営者の役割は重要です。

### ★ITガバナンスの具体例

ITガバナンスには様々な具体例がありますが、以下のようなものが挙げられます：

- IT戦略の策定と実行:  
ITガバナンスでは、企業の経営目標に合わせたIT戦略を策定し、実行していきます。これにより、ITの活用を最適化し、競争優位性を構築することができます。
- 情報システムの運用管理:  
ITガバナンスでは、情報システムの運用管理を適切に整備し、リスクをコントロールします。これにより、情報システムの安定性やセキュリティを確保することができます。
- 第三者による評価:  
ITガバナンスの適切な整備と運用は、第三者によって評価されることもあります。これにより、企業のITガバナンスの品質や成熟度を客観的に評価することができます。
- 情報セキュリティの確保:  
ITガバナンスでは、情報セキュリティを確保するために、技術的、物理的、人的、組織的な対策を経営層を中心とした体制で組織的に行います。これにより、情報資産を適切に保護し、企業の信頼性を高めることができます。

# テクノロジー系用語集サンプル

## ネットワーク基礎

ネットワークは、複数の端末や機器を接続し、データのやり取りを可能にする仕組みです。

## IPアドレス

IPアドレスは、インターネット上のコンピューターやデバイスを特定するための一意の識別子です。

### ✦IPアドレスの役割

IPアドレスは、インターネット上のデバイスを特定するための**住所のような役割**を果たします。具体的には次のような役割があります：

- **ネットワークの識別:**

IPアドレスは、インターネット上のネットワークを一意に識別するために使用されます。ネットワークの構成や接続方法によって、異なるIPアドレスが割り当てられます。

- **デバイスの識別:**

同じネットワーク内にある複数のデバイスを区別するために、IPアドレスが使用されます。各デバイスは一意のIPアドレスを持ち、通信やデータの送受信に使用されます。

- **ルーティング:**

IPアドレスは、パケットがどのネットワークに送信されるかを決定するために使用されます。ルーターは、宛先IPアドレスを基にパケットを適切なネットワークに転送します。

### ✦IPv4とIPv6

IPアドレスの仕様は2つあります。IPv4とIPv6です。具体的なポイントは次の通りです：

- **IPv4:**

IPv4は、4つの10進数の組み合わせで表現され、32ビット（32桁の2進数）で構成されるIPアドレスの仕様です。これは従来から使われてきたプロトコルで、数十億個のIPアドレスを提供することができます。しかし、膨大な数のIoTデバイスがインターネットに接続されるようになったため、IPアドレスが不足してきました。

以下のような表現になります。

```
192.168.0.1
```

- **IPv6:**

IPv6は、8つの16進数の組み合わせで表現され、128ビットで構成されるIPアドレスの仕様です。IPv4でのIPアドレスの枯渇に備えて開発されたプロトコルで、膨大な数のIPアドレスを提供することができます。

以下のような表現になります。

```
2001:0db8:85a3:0000:0000:8a2e:0370:7334
```

## ドメイン名

ドメイン名は、インターネット上で使用されるコンピュータを識別するための名前です。

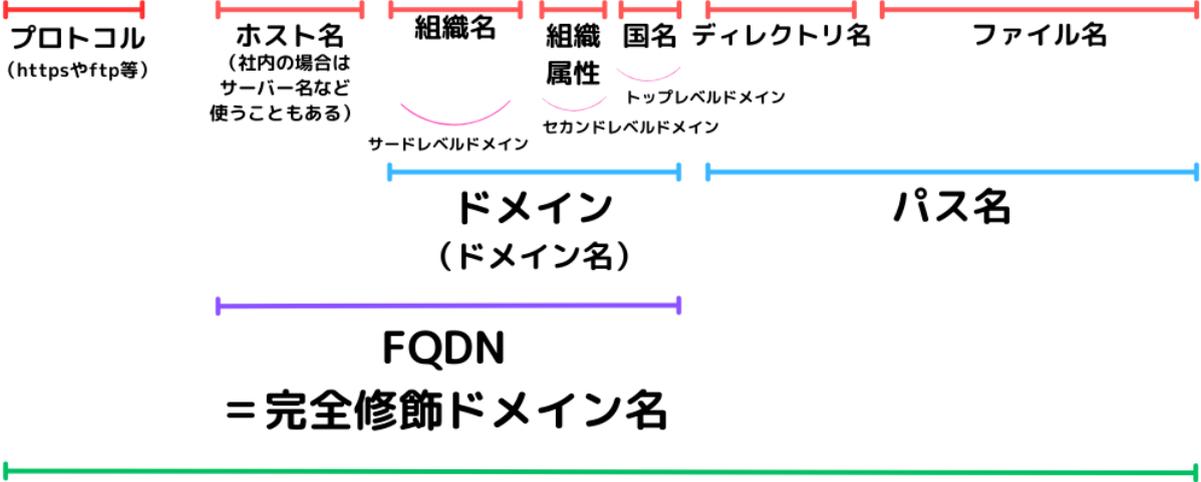
### ✳️ドメイン名の役割

ドメイン名は、IPアドレスに対応付けられたコンピュータを識別するための名前です。IPアドレスは、コンピュータがネットワーク上で一意に識別されるための番号ですが、人が覚えにくい一連の数字で構成されています。ドメイン名は、このIPアドレスを人が覚えやすい文字列で表したものであり、人間がインターネット上のコンピュータを識別する際に利用されます。

### ✳️ドメイン名の構成

ドメイン名は、階層的な構造を持っています。一般的なドメイン名の構成は、「ホスト名.ドメイン名.トップレベルドメイン」です。例えば、「www.example.com」というドメイン名では、「www」がホスト名、「example」がドメイン名、「com」がトップレベルドメインとなります。

# http://www.gmo.co.jp/news/index.html



## URL

### ★ドメイン名の使用範囲

ドメイン名は、Webサーバを指定するURLや電子メールアドレスに使用されます。Webサーバを指定するURLでは、ドメイン名がウェブサイトのアドレスとなります。「www.example.com」のようなドメイン名を入力することで、そのウェブサイトにアクセスすることができます。また、電子メールアドレスでもドメイン名が使用されます。「example@example.com」のような形式で、メールの送信先を識別するためにドメイン名が利用されます。

### ★ドメイン名の制約と取得

ドメイン名には、一定の制約があります。例えば、アルファベットや数字、ハイフンを使用することができますが、漢字や平仮名は使用できません。ただし、実際の制約は国や登録機関によって異なる場合があります。また、ドメイン名は個人でも取得することができます。企業や団体だけでなく、個人も自分のウェブサイトや電子メールアドレスのためにドメイン名を取得することができます。

## DNS (Domain Name System)

DNSは、「Domain Name System」の略で、ドメイン（コンピュータを識別するための名前）とIPアドレスを紐付けて管理するシステムです。このDNSにより、利用者は覚えやすいドメイン名を使用してウェブサイトにアクセスできます。

### ★DNSの役割

- ドメイン名とIPアドレスの対応付けを行う役割を持ちます。

- ドメイン名を入力すると、DNSが対応するIPアドレスを検索し、通信先のコンピュータを特定します。

例えば、ネットワーク上で、ユーザーが「www.example.com」というドメイン名を入力した場合、DNSは「www.example.com」に対応するIPアドレスを検索します。検索されたIPアドレスを用いて、ユーザーのコンピュータは「www.example.com」のサーバにアクセスします。

また、DNSは、IPアドレスを利用してパケット転送の経路を選択する機能も持っています。インターネット上でデータを送信する際には、複数の経路が存在する場合があります。DNSは、経路の中から最適な経路を選ぶことで、効率的なデータ転送を実現します。

### ★DNSキャッシュポイズニング

DNSキャッシュポイズニング攻撃は、DNSを悪用するサイバー攻撃の一種です。DNSの持つ、ドメイン名をIPアドレスを紐づけるプロセスを妨害しようとしています。

ここでの「キャッシュポイズニング」とは、DNSサーバーの「キャッシュ」（一時的に保存される情報）に偽の情報を注入することを意味します。攻撃者は、DNSサーバーに対して偽の応答を送信し、**そのサーバーが正しくない情報を「信じ込ませる」**ことを目指します。たとえば、攻撃者が「www.example.com」というウェブサイトのアドレスを、攻撃者が制御する別のサーバーのIPアドレスに関連付けることができます。

この攻撃が成功すると、ユーザーが特定のウェブサイトにアクセスしようとしたとき、彼らは実際には攻撃者の偽サイトに誘導されます。この偽サイトは本物と酷似しているため、ユーザーは気づかずに個人情報を入力することがあります。これにより、攻撃者は機密情報を盗み取ることができます。

DNSキャッシュポイズニングは、インターネットの安全性にとって重大な脅威であり、ユーザーのセキュリティとプライバシーに対する攻撃となり得ます。このため、DNSサーバーを運営する組織は、セキュリティ対策を強化し、定期的な監視と更新を行うことが重要です。